

羽生田先生から「ご寄稿いただきありがとうございました」

参議院財政金融委員会 理事 / 自民党厚生労働部会 部長代理
医師の働き方改革 P T 座長
参議院議員
羽生田 たかし

活動報告



平素より私の政治活動に対しまして格別のご理解とご支援を賜っておりますことを衷心より御礼申し上げます。

な論調があらわらざるで聞かされてきます。

昨年七月に日本医師連盟よりご推薦を賜り、以来十月にわたり全国を回らせていただいたおりましたが、全国各地で私へのご支援の輪を広げるため、各地域において医師連盟の皆さまが日夜懸命にお取り組みいただいていることに心より感謝を申し上げる次第です。そのなかで皆さまから多くのお声を頂戴し、この夏の結果が診療報酬改定をはじめ、骨太の方針、消費税の問題など医療と直結する重大な政策決定に対して大きな影響を及ぼすものと考えております。この結果如何によって政策変更が行われることもあり得る、極めて重要な戦いであるとの現実を再認識し身の引き締まる思いであります。

ところが患者さんにとって、医療機関へのかかりやすさが重症化予防の最たるものであることはいうまでもありません。早期発見、早期治療の取り組みはいろいろな意味で患者さんの負担軽減になるもので、心身的・財政的のみならず、社会的・復帰や働きながらの通院治療にもつながるものであります。医療機関へのアクセス拡大はいわば民間が主導する医療提供体制ならではの産物であり、その結果として医療水準が飛躍的に向上するなど現在の日本における長寿を生み出したのです。国民が求めているのは財政論者の主張する医療費削減などではな

く、安心して健やかに暮らせる社会です。そこには過不足のない医療の提供が欠かすことのできない制度であり、政治には国民の命と財産を守る大きな使命があることを忘れてはいけません。また、これからの人生100年時代をどう生きるか、これも国民の大きな関心事のひとつです。健康長寿社会の実現には政府、企業、医療界それぞれ健康寿命の延伸を基礎とした予防・健康づくりの取り組みをさらに推し進めていくべきではないでしょうか。

設備、病院機能をきちんと立て直すことが、その後に来る最大の高齢社会に対応するための医療のあり方を方向づける、大変重要な土台となります。また、厳しい財政状況のなかにおいて、どう高齢社会時代の医療・介護に向き合うかも大きな課題であります。そういった意味におきましても、年末の予算において医療関係者の悲願を確実に国政へ届けられるか否かは、皆さま方お一人おひとりのお力の結果による大きな叫びに懸かっているのです。

といっても過言ではなく、多くの経験や地域医療の実情、それぞれの地域性に関わらせていただきます。「やっぱり、日本の医療を守るには医師が先頭に立ってしっかりとやらなければ！」との覚悟と重責を心にしっかりと受け止め、医師連盟の組織内候補として、そして医療界の代表として、再び国政の場に送り出したいだけでしたら、必ずや皆さまのご期待に応

えるべく粉骨砕身取り組んで参りますので、引き続きのご支援を心よりお願い申し上げます。結びに、決戦が目前に迫ったこの時期の日医連ニュースにご挨拶の機会を拝領いたしました、横倉義武委員長をはじめ日本医師連盟の皆さまに感謝いたしますとともに、全国各地の医師会・医師連盟の皆さまのご支援に心より御礼申し上げ、お願いのご挨拶とさせていただきます。



横倉委員長より必勝祈願のお守り

「医療機関やベッド数の多さが医療費を高騰させている」とか、「民間主導の医療提供体制が社会保障費用を押し上げる元凶だ」と、まるで自由開業制が悪であるかのよう



前橋市後援会発足式



日医連執行委員会にてガンパロー

でも「予防接種をコンビニ」など患者さんの利便性を重視するあまり、医療安全をないがしろにする発言があることも確かです。「患者目線」は大切であり利便性も理解できますが「医療安全」より優先されるものはないことは自明の理であります。基本姿勢を明確に伝える役目を担うべき組織内候補である私たちが国政の場に存在する意義が大変重要であると痛感した六年間でもありました。改めて申し上げます。また、私自身が昭和六十二年群馬県前橋市医師会の理事をスタートに、群馬県医師会理事、日本医師会常任理事を経て平成二十二年日本医師会副会長を経験させていただきました。まさに医師会活動が私の人生そのもの



石川県医師会医療機関訪問



栃木県医師会医療機関訪問



秋田県医師連盟ガンパロー



静岡県医師連盟東部地区にてガンパロー



岐阜市医師会理事会にて



岐阜県高山市医師連盟にて



沖縄県医師連盟ガンパロー



高知県医師会医療機関訪問



京都府医師連盟ガンパロー